



2025 年 12 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェリービーンズグループ

代 表 者 名 代表取締役社長 宮崎 明

(コード 3070・東証グロース市場)

問い合わせ先 取締役 I R広報室長 林 光

電 話 番 号 (03) 3871-0111 (代表)

(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

特別利益（負ののれん発生益）の計上 及び
連結子会社における特別損失（事業構造改善費用）の計上に関するお知らせ

2026 年 1 月期第 3 四半期連結会計期間（2025 年 8 月 1 日～2025 年 10 月 31 日）におきまして、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益（負ののれん発生益）の計上

当社は、2025 年 6 月 12 日付で公表いたしました「子会社設立のお知らせ（株式会社 JB メディカル）」にて記載のとおり、当社グループは、医療機関の運営を側面から支援するサービス体制の構築を目的として、病院・医院等における受付業務、診療報酬請求事務、経理・一般事務などの業務受託を中心としたメディカル・サポート法人（MS 法人）を新たに設立いたしました。医薬品や医療用機器の販売、療養施設の運営支援、病院内清掃や設備管理、食堂・売店の運営、不動産の管理運営など、医療機関を取り巻く環境を包括的に支援する体制を構築することで、地域医療への貢献とグループ全体の事業基盤の強化および既存事業におけるグループ全体でのシナジー創出を目指してまいります。

これらに関連し、連結子会社が受け入れた資産が取得原価を上回る事業譲受をしたことにより、2026 年 1 月期第 3 四半期連結会計期間において、負ののれん発生益 5 百万円を特別利益として計上いたしました。

2. 連結子会社における特別損失（事業構造改善費用）の計上

当社グループは、2016 年 1 月期以降、売上高が減少傾向にあったところに、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、売上高は大きく減少、前連結会計年度を含めると 7 期連続した営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスの計上、並びに 9 期連続した親会社株主に帰属する当期純損失を計上している状況にあります。抜本的な構造改革の実施による経営の効率化及び経営資源の集中並びに事業領域の拡大を図ることで、収益の改善を目指すため、連結子会社である株式会社 JB ロジスティクスにおいて、さらなる事業構造の変更を行い収益構造強化に伴い、2026 年 1 月期第 3 四半期連結会計期間において、物流センター移転に伴う関連費用を事業構造改善費用として 3 百万円を特別損失に計上いたしました。

(株式会社 JB ロジスティクス概要)

(1) 名称	株式会社 JB ロジスティクス	
(2) 本社所在地	東京都台東区上野 1-16-5	
(3) 代表者の役職氏名	代表取締役 谷辻 昌也	
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物利用運送業 ・倉庫業及び倉庫管理業務 ・鉄道運送業 ・海上運送業 ・航空運送業 ・物流コンサルティング業 他 	
(5) 資本金	900 万円 (当社 100%出資の子会社)	
(6) 設立年月	2025 年 2 月	
(上場会社と当該会社の関係)	資本関係	当社 100%出資の子会社
	人的関係	当社取締役の宮崎及び林が取締役に、 当社監査役の馬場が監査役に就任しております。

3. 連結業績に与える影響について

上記特別損失につきましては、本日公表の「2026 年 1 月期第 3 四半期 (中間期) 決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

今後当社の連結業績に重要な影響を与える見込が生じた場合は、速やかに開示いたします。

以上